



子育てのキーワードは「つながり」

最近、よく耳にする言葉があります。それは、「つながり」という言葉です。毎日、報道される痛ましい事件や事故のほとんどは、コミュニケーションの問題ではないかと言われています。かつては協力しながら、コミュニケーションを重ね合い、社会を築き上げてきたのですが、現在は個人主義が横行し、バラバラになる社会になりつつあります。べつに「つながり」がなくても生きていけるとおっしゃっているからです。

しかし、今一番大切にしなければならないのが、「つながり」のある生活です。「家族とのつながり」、「地域社会におけるつながり」、「保育園・学校等とのつながり」……。大阪大学、志水宏吉教授も、「家庭」、「地域」、「学校」という基盤が子どもにとっていかに大切かを述べておられます。そのことを『「つながり格差」が学力格差を生む』という本に著しておられます。



家庭教育情報紙「共育いちい」No.10で、子どもの自立は親の「つながり」が大事だと掲載しました。子どもは、私たち大人の姿をよく見えています。「つながり」についても見ているのです。「つながり」を大切にしないと、安心安全な環境にはなりません。安心安全な環境でないと子どもは、自己実現に向けて動き出さないのです。

だから、「子育て」は、地域とそこに住む人のつながりが支えになります。地域が支える、行政も支える、そうした基盤があって、「子育て」は豊かになり、安心安全が確保されるのです。こうした横の「つながり」だけでなく、子育ての経験者や高齢者など、信頼感とぬくもりのある縦の「つながり」を再び取り戻すことが必要なのです。



左の写真は、隣町の奥出雲町の亀高小学校と高田小学校のお母さんたちのグループです。島根県の「しまねの社会教育だより」で紹介してありました。ここにも、「つながり」というキーワードが……。

「ママがしあわせって最高に素敵かも。だからゆる～く、ゆる～く、つながっていきたい。山間の小さなふたつの小学校のママたちの自由気ままな女子会企画♡楽しいこといっぱいはじまる予感」というキャッチコピーで活動しておられます。また、「人とつながりって、想像以上に素敵なんです。子どもがつないでくれるこのつながりを大切にしていきたいと思っています。これからも「ゆる～く 楽しく」よろしくね!」とグループのブログに書き込まれていました。

日南町でも「つながり」の希薄さが見え隠れする場面を見ることがあります。今一度「つながり」について振り返ってみて、「つながり」を大切にしていきたいです。子育ての一步です。

「共育イチイ」のご愛読ありがとうございます。今年もあとわずかとなってきました。よいお年をお迎えください。来年もよろしく願いいたします。